



はくい (HAKUI)

平成27年4月号(2015)

# 市議会だより

No.65

## 設置目的

- ① 市民に市議会の活動状況、情報を提供し、
- ② 市民との意思疎通手段を多重化しながら、
- ③ 市民の要望を市政に反映させるとともに、
- ④ 分権時代に向けた市議会の活性化を図る。

発行者／石川県羽咋市議会

編集者／市議会だより編集委員会

住所／〒925-8501 石川県羽咋市旭町ア200番地

TEL 0767-22-7160 FAX 0767-22-7210

<http://www.city.hakui.ishikawa.jp>

## 主な内容

一般質問	2
各委員会報告	8
市民の声	10



千路町しだれ桜

## 平成27年第1回定例会の概要

平成27年第1回羽咋市議会定例会が3月2日から3月20日までの19日間開催された。提出された議案は、平成27年度羽咋市一般会計予算案など議案33件、報告2件。

初日の提案理由説明で山辺市長は、急速に進む人口減少に歯止めをかけるため、平成27年4月から「がんばる羽咋創生推進室」を設置し、「がんばる羽咋創生プログラム」を策定することと、4つの重点項目の事業内容について説明した。また、平成26年度補正予算についても説明した。

3月10・11日の質問日では10人の議員が質問に立ち、「羽咋版地方創生」、道の駅構想、農業の成長産業化、羽咋駅周辺の活性化、子育て支援な

どについて質問した。

最終日の採決では、平成27年度羽咋市一般会計予算案、平成26年度羽咋市一般会計補正予算案など市長提出議案32件、報告2件を全会一致または賛成多数で原案通り可決、承認。継続審査も含めた請願4件のうち、1件を不採択、3件を継続審査とした。議員提出議案「羽咋市議会委員会条例の一部改正について」、「羽咋市議会会議規則の一部改正について」を可決した。また、追加された市長提出議案第33号「固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて」を可決した。



櫻井 英一 議員

## 「道の駅」は持続可能な健全運営を！



「道の駅」建設予定地

### 経営を左右する駅長の選任方針を問う

【質問】 実質的な経営者である駅長の能力によって「道の駅」の運営が大きく左右される。情熱があり、流通・企画に精通した駅長が理想であるが、なかなかそうした人材を見つけるのは難しい。平成27年度中に全国公募することのことだが、駅長選任に対する考えを聞く。

【答弁】 最も重要視したい点は、羽咋のまちを元気にしたいという熱意を持っているかどうかということ。その上で、流通や企画・経営等の実務経験を持ち、その経験を生かしながらチームワークを大切にする方に託したい。

### 安定した雇用創出と移住促進策を問う

【質問】 高校を卒業してから進学・就職等で地元

を離れる子たちが多い。いったん外に出てしまうとなかなか戻って来ない。これが人口減少、若者減少の一つの要因である。こうした現状を打破するため、安定した雇用創出と移住促進策を聞く。

【答弁】 観光交流拠点整備や継続した企業誘致、創業支援策などにより新たな雇用の場を創出していく。また、本市窓口での転出の移動理由では、卒業・就学及び就職が大きな要因となっており、Uターン対策は重要な課題と認識している。平成27年度より都市部において羽咋出身者を対象とした羽咋会などの結成を支援し、継続した情報提供を行っていくことでUターンにつなげていきたい。

#### その他の質問

①職員の意識改革、人材育成について



大塚 幸男 議員

## はくい創生は今こそ正念場！



通行止めのドライブウェイ

### ジビエ活用推進事業の工程と道筋

【質問】 イノシシを解体する場所や関連施設の対応は。県も新ブランド「いしかわジビエ」として力をいれており、安定的な個体の確保を含め調整が必要では。特産品化や販路拡大の研究開発は、地域おこし協力隊を活用するようだが、その人材確保の見込みはあるのか。

自然栽培に取り組む新規就農者への支援を拡充するが、どの程度の就業希望者を把握し、どの地域で住宅や農地を確保するつもりか。

【答弁】 個体の確保は、近隣の自治体や猟友会などと連携したい。地域おこし協力隊制度を活用し、夢を持ちジビエの活用に意欲を持つ若者を公募採用する。新規就農者は、のと里山農業塾の塾生から2人を予定。さらに4、5人が自然栽培農業の

体験要望がある。空き家や農地の確保は、町会の支援対応も含め総合的に検討する。

### 観光誘客による地域経済の活性化

【質問】 外国人旅行者の消費力は旺盛、観光施設や市内主要施設に多言語表記を急げ。道の駅の最大の特徴は何か。五重塔をシンボルにするなど本市の姿勢を表現すべき。ドライブウェイは羽咋市の生命線、砂浜の早期復活と補完道路整備を急げ。

【答弁】 道の駅のデザインは羽咋らしさを表現する。砂浜の復活に向けて人工リーフの早期設置を要望していく。補完道路は保安林でもあり、県と連携して実現したい。

#### その他の質問

①地方移住対策に独自の仕掛けと住宅団地整備について





松永 幸則 議員

## 知恵と汗をふりしぼり、 活気ある羽咋市に



市のイメージ向上や高い経済効果のあるスポーツイベント

### ふるさと寄附金制度の徹底的活用を

**【質問】** ふるさと寄附金を10億円以上も集めている自治体もある。羽咋市ももっと知恵を出せば、数千万円あるいは数億円を集めることができるかもしれないということではないか。寄附金額の細分化、特産品の充実化を。

**【答弁】** 早急に特産品などの制度の見直しを行い、寄附金額の拡充強化に努める。寄附金額の増加に対応するため、システム改修を行うとともに、寄附者の利便性を考慮したクレジット決済などの対応も取り入れる。高額寄附の対応も含め、市内の特産品提供商店などと連携しながら取り組んでいく。

### モンベルと共にスポーツイベントの実施を

**【質問】** 2010年より中断しているカヌーとカヤックの大会であるトライ&キャリー、あるいは水辺から山頂を目指すシートゥーサミットなどのスポーツイベントの実施を促せないか。既に珠洲市に取られたというか、先を越された感があるが、可能性は。

**【答弁】** 平成27年度予算にシートゥーサミットの視察費等を盛り込み、本イベントを本市で開催できないか、同社と検討していく。

#### その他の質問

- ①「がんばる羽咋創生プログラム」について
- ②自然栽培のさらなる活用について
- ③職員の方々の今後の事業の関わり方について
- ④子どもたちの安全安心を守ることにについて



寺井 哲也 議員

## 道の駅は大丈夫なの



道の駅イメージ図

### 運営は、場所は大丈夫？

**【質問】** 道の駅は金沢以北の能登地区には18カ所、また類似施設を含めると相当な数がある。①なぜ今になって道の駅が必要なのか。②道の駅のターゲットは、観光客、地元のどちらに絞っているのか。③近隣には大手スーパーもあるが、道の駅の経営は大丈夫なのか。④津波災害時の避難施設としては危険だと思うが、どのような災害を想定しているのか。

**【答弁】** ①第5次総合計画や観光振興ビジョンの中でも、滞留・滞在型観光を推進する上で道の駅整備の重要性が盛り込まれている。②まずは、市民や近隣の方々をターゲットに、賑わいを創出することが肝心であり、その賑わいがさらに外からの人を呼び込む効果を生み出すと考えており、地元が6割、市外が3割、県外が1割で考えてい

る。③地域の方々の知恵や手間を注いだ商品を置き、これら生産や加工を通じて、住民の所得向上に寄与するのみではなく、関わる方々に生きがいを感じてもらえることが大きな意義でもあると考えている。大手スーパーでは感じることはできないおもてなしの心、つまり羽咋の人の温かさや地域資源をアピールする場にもなる。④総合的な防災機能を付加していきたいと考えている。想定される津波は最大3.7メートルであり、建設地は海拔5メートル前後であることから、一時避難施設としての活用を図れる場所である。

#### その他の質問

- ①旧文化劇場の解体について
- ②妙成寺国宝化支援について
- ③峨山道トレイルランについて



稲村 信成 議員

## 将来、市民の負担にならぬ道の駅を！

### 市民が支援できる計画と情報開示を！

【質問】①道の駅候補の地元千里浜町会を含め、「作る有りき」先行の計画に経営不安が強い。市長の決意を問う。②発表の収支計画は、何をブランド化し、生産・販売を考えての地元販売6割との発言か。③防災拠点にもとの事、消防署より周辺を洪水避難地区として指導あり。指定避難場所との誤解を招く防災拠点地区指定は困るとの声。

【答弁】①産業振興・交流人口拡大の為の拠点とする。市民力を結集させ運営に全力で取り組む。②地域の農林水産品・加工品と自然栽培農法のブランド化を対象に行動計画を策定中、地元販売6割とは、成功地区の傾向を述べた発言である。③一時避難場所、救援物資中継点、非常食や非常用



浅野 俊二 議員

## 市民の命を守るのは市長の使命!!

### ヨウ素剤を事前配布せよ！

【質問】環境省の専門家会議は、甲状腺がんの増加が報告されたチェルノブイリ原発事故と比べて、推定被曝線量が低いとして焦点をぼかしている。しかし、85人の子供が手術を受け1人が良性、84人が悪性ないし悪性の疑いであった。98%は小児甲状腺がんであり検査後人数が112人と増加し続けている。①この様な現状からしてヨウ素剤は事前配布しておかなければ宝の持ち腐れ、全員配布すべきだが、少なくとも子供のいる希望する家庭に配布せよ。②学校、保育所には現在配備されているが、事故の際即配布をせよ。③アレルギー体質は事前に把握できる。万が一の際、命を守るのが市長の使命であり決断を求める。

【答弁】①ヨウ素剤の事前配布は県外で原発周辺の一部自治体で実施している。本市実施については、国の指針及び県の方針の整合性が必要であり

保険料	240	0.4
維持費	1,000	1.8
その他経費	2,000	3.7
計	3,240	5.9
合計	53,880	
税引前利益	933	

取(正増、非正増)については、「道の駅」を拠点とした地域活性化調査結果(平均値)をもとに設定  
維持管理に付する管理委託料については、本試算では見直しにより収支は変動する。  
の増大(1.2倍:9734台、1.4倍:11,357台)

道の駅収支試算

電源の備蓄などの防災機能を付加することで施設機能を高めるもの。

### 現業農家の積極的な支援を！

【質問】自然農法による6次産業化を目指すなら、今頑張っている農家への応援・支援が今以上に必要。新農法は、作業が増えても収穫が減る。この様な苦勞に対しての応援・支援を求める。

【答弁】農家の支援策は、所得向上や担い手育成・米価対策等の国県による各種補助制度の活用を推進している。本市独自の取り組みは、県内他市町の状況等を調査し、今後の検討課題とする。

### その他の質問

①「朱鷺の里羽咋」のイメージ作りについて



空き家対策に駐車場を

検討課題とする。②原子力規制委員会から指示が出た場合、服用する。③小中学校、保育所の協力を得て、ヨウ素剤服用事前調査を実施する。また市民に対してもアレルギーへの周知理解を求める。

### 駅周辺の活性化対策を急げ

【質問】①長者川改修を急げ。②旧マルシェの空き家対策と無料駐車場の設置。

【答弁】①八幡橋からJR橋は県に要望している。紺屋橋から八幡橋は中期的課題。②フェンスや進入路の老朽化が著しく、私有地でもあるが、安心安全の面から検討する。

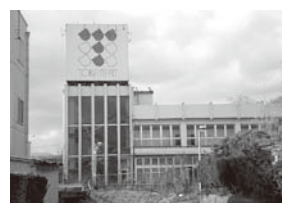
### その他の質問

①妙成寺の国宝化に向けての新たな組織化について  
②道の駅に魚・カキ貝等の魚貝類を置くことについて



山本 泰夫 議員

## 街の活性化・にぎわい創出・ 交流人口の拡大



旧マルシェ

### 羽咋駅周辺整備と街の活性化

**【質問】** 駅前広場のロータリー改修整備より廃屋のマルシェ・空き家・空き商店・長者川改修そして都市計画道路川原町線等を含めた駅前再開発事業（土地区画整理事業）等による、羽咋駅前・中心市街地の抜本的な整備計画を進めるべきである。

**【答弁】** 駅周辺のにぎわい創出や利便性を図るため、地元関係者の意見を聞き取りまとめている。土地区画整理事業実施には、行政・商業者・住民の協力や強い熱意、また費用負担・事業後の利用計画、そして関係者の合意形成を図る必要があるため、事業化に多くの課題があるが検討する。

### 住まいづくり奨励金と定住促進

**【質問】** 定住促進の為の駅東口の宅地は、低廉な住宅地として販売されているが、売れていない。売れない理由は、住まいづくり奨励金の上乗せで販売が可能となるのか。昨年の建築確認申請の件数は、人口動態に見られるように、市内在住者の市外移転が進んでいる。

**【答弁】** 売れない理由は、消費税増税、販売価格が高い、周辺が整備中であるため。奨励金の拡充、分譲可能年令の拡大、住宅メーカーへの分譲、不動産業者への斡旋報償費等を予定している。昨年の建築確認申請の件数は、62件。転出者数が転入者数を上回る状況であり、人口減少の大きな要因である。



浜名 等 議員

## 町会支援策を充実せよ！



左折専用レーンの設置を！

### LED化を進める時の町会負担は

**【質問】** 県内の自治体では地球温暖化や省エネルギー対策に貢献するLED化が進んできている。現在の本市におけるLED化の進捗状況はどうか。また、故障などにより、防犯灯をLED灯に交換する場合の、町会負担についてはどう考えているか。

**【答弁】** 防犯灯は市内全域で約3,530灯ある。平成26年度から市管理の防犯灯の取り替えや町会からの要望等によりLED化を実施しており、これまでに修繕で11基、新設で10基の合計21基がLED化されている。

現在、町会がLED灯に交換する場合は、全て町会負担で交換しているが、今後はLED化を希望する町会に対しては、助成制度を検討していきたいと考えている。

### 市道羽咋3号線に左折専用レーンの設置を

**【質問】** 市道羽咋3号線から、県道若部千里浜インター線への乗り入れは、交通量の増加により、里山海道への右折がしにくいため、交通渋滞を招いている。兵庫町方面に左折する車に対しての渋滞緩和策としては、左折専用レーンの設置が効果的だと考えるが、今後、設置する考えはないか。

**【答弁】** 交通混雑の対策としては、左折レーンの増設が効果的であると考えている。道の駅の周辺整備では、左折レーンの設置等も含めた整備方針を検討し、交通渋滞の緩和に取り組んでいく。

#### その他の質問

- ①空き家情報登録促進事業について
- ②地域自治奨励金制度について
- ③ハイブリッド照明の設置について





北川 真知子 議員

## 子育て支援、 「子どもの貧困対策」は急務！



子どもは社会の宝

### 子ども医療費窓口無料化を一日も早く

【質問】 県内の市町では、子育て支援として、子ども医療費窓口無料化を相次いで決定。能美市は4月から、白山市は8月から、加賀市と小松市は10月から、能登では昨年11月から実施の輪島市に次いで、宝達志水町は10月から、かほく市は来年1月から窓口無料となる。羽咋市でも実施するよう市長の決断を求める。

【答弁】 今年度から、月額1,000円の自己負担を無くし、医療費の全額助成を実施する。このことは窓口無料化を見据えてのことであり、今後、県内他市町の導入状況を考慮しながら実施時期を検討する。

### 国の支援金を使って国保税の引き下げを

【質問】 国は、低所得者対策の強化のため、保険料の軽減対象となる低所得者数に応じた自治体の

財政支援を拡充するとし、1,700億円を投入する。羽咋市は、支援金の使い道をどのように考えているのか。

【答弁】 国は1,700億円の財政支援で一人当たりおよそ5,000円の財政改善の効果があるとしている。本市の場合、およそ3,000万円の財政改善がある。しかし、国からの財政支援があっても2,000万円の基金の取り崩しが必要であり、国保税の引き下げは困難。

#### その他の質問

- ①小規模企業基本法について
- ②介護保険について
- ③地域住民緊急生活支援について
- ④るんるんバスについて
- ⑤「道の駅」について
- ⑥農協改革について



塩谷 久司 議員

## 荒天でも観賞できる道路と 展望台の整備は



長手島を望む

### 自然と人の好循環で羽咋の魅力発信…

【質問】 千里浜海岸は羽咋の宝である。浸食の対策は遅々として進まないが、それでも海・夕日は宝である。また、一ノ宮海岸の白砂青松から一変して滝石海岸、柴垣の砂浜、映画「小さいうち」のロケ地であり、長手島の景勝と最高の自然美。一方で渚の正倉院といわれる寺家遺跡、折口信夫父子のお墓、気多大社、妙成寺の観光ルートは新幹線開業を機に自転車道路で一体的に整備し、レンタサイクルの設置をしては。

【答弁】 千里浜海岸は、羽咋を訪れる方々にとって大変魅力的なロケーションであり、補完道路の整備は県と協議を進めているが、展望台の整備は費用対効果も踏まえ検討課題とする。自転車道路の整備とレンタサイクルの設置は観光地を有機的

に連携し、効果的であり、道の駅を含め市内をめぐるサイクリングマップの作成を検討する。レンタサイクルは、ホテルゆ華や千里浜レストハウス、JR羽咋駅などで実施しており、道の駅での設置は、利用状況等を踏まえ検討する。

### 地域の子どもは地域で守ろう

【質問】 スマートフォンなどの取扱いについて便利を超えて怖さを感じる。地域の子供は地域で守る、地域の社会教育は。教育委員長の所見は。

【教育委員長答弁】 家庭や地域で子供を守るのは大人の責任。意識を高め危険性の啓発に取り組む。

#### その他の質問

- ①新年度予算と財政指標について

# 平成27年 第1回定例会 3月議会

## ◇平成27年度の一般会計予算をはじめ全議案を可決

平成27年度一般会計予算や国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算等の議案34件人事案件1件を原案のとおり可決・承認した。請願4件については、3件を継続審査、1件を賛成少数で不採択とした。

### ■全会一致で議決された議案

	議 案 名	議決結果
議員提出議案第1号	羽咋市議会委員会条例の一部改正について	可決
議員提出議案第2号	羽咋市議会会議規則の一部改正について	可決
市長提出議案第3号	平成27年度羽咋市後期高齢者医療特別会計予算	可決
市長提出議案第5号	平成27年度羽咋市千里浜財産区特別会計予算	可決
市長提出議案第6号	平成27年度羽咋市水道事業会計予算	可決
市長提出議案第7号	平成27年度羽咋市下水道事業会計予算	可決
市長提出議案第8号	平成26年度羽咋市一般会計補正予算(第9号)	可決
市長提出議案第9号	平成26年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決
市長提出議案第10号	平成26年度羽咋市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
市長提出議案第11号	平成26年度羽咋市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決
市長提出議案第12号	平成26年度羽咋市水道事業会計補正予算(第2号)	可決
市長提出議案第13号	平成26年度羽咋市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決
市長提出議案第14号	羽咋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の制定について	可決
市長提出議案第15号	羽咋市指定介護予防支援等の事業の人員、運営及び指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について	可決
市長提出議案第16号	羽咋市地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	可決
市長提出議案第17号	羽咋市特別用途地区建築条例の制定について	可決
市長提出議案第18号	羽咋市立博物館条例の制定について	可決
市長提出議案第19号	羽咋市文化財保護条例の全部改正について	可決
市長提出議案第20号	羽咋市行政手続条例の一部改正について	可決
市長提出議案第21号	羽咋市職員退職手当条例の一部改正について	可決
市長提出議案第22号	羽咋市保育の実施に関する条例の一部改正について	可決
市長提出議案第23号	羽咋市医療費の助成に関する条例の一部改正について	可決
市長提出議案第26号	羽咋市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決
市長提出議案第27号	羽咋市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決
市長提出議案第28号	神子原農林水産物加工販売施設の指定管理者の指定について	可決
市長提出議案第29号	管地辺地に係る公的施設の総合整備計画の変更について	可決
市長提出議案第30号	羽咋市過疎地域自立促進計画の変更について	可決
市長提出議案第31号	市道路線の認定について	可決
市長提出議案第32号	平成26年度羽咋市一般会計補正予算(第10号)	可決
市長提出議案第33号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
市長提出報告第2号	平成26年度羽咋市一般会計補正予算(第8号)の専決処分の報告について	承認
請 願 第 2 号	介護報酬引き下げ撤回・介護労働者の処遇改善と人材確保に関する国への意見書提出を求める請願	継続審査
請 願 第 3 号	TPP交渉に関する請願	継続審査

### ■意見が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 欠は欠席

議案名	松永幸則	浜名等	北川真知子	寺井哲也	櫻井英一	稲村信成	大塚幸男	新田義昭	高田基哉	塩谷久司	中村重幸	中村孝清	山本泰夫	浅野俊二	議決結果	
議案第1号 平成27年度羽咋市一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	議長は採決に 加わりませ ん	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第2号 平成27年度羽咋市国民健康保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第4号 平成27年度羽咋市介護保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第24号 羽咋市国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第25号 羽咋市介護保険条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
※請願第1号 「集团的自衛権の行使を容認の閣議決定を撤回し、閣議決定に基づく立法化を行わないことを求める意見書」採択を求める請願	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	継続審査	
平成26年 農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する意見書提出を求める請願	×	×	○	×	×	×	×		×	×	×	○	×	○	不採択	

※請願第1号については、「継続審査」に対して、賛否を採決した。

## 総務文教常任委員会報告

◎塩谷 久司 ○寺井 哲也 浜名 等 新田 義昭  
高田 甚哉 山本 泰夫 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第1号「平成27年度羽咋市一般会計予算」中、当委員会所管分など議案10件、報告1件及び請願1件。

なお、各会計の新年度予算については、産業厚生常任委員会と合同で連合審査会を開催し、審査した。

新年度予算を除く、残りの付託案件については、当委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。その結果、いずれも全会一致で原案のとおり可決した。

請願第1号「集団的自衛権の行使を容認の閣議決定を撤回し、閣議決定に基づく立法化を行わないことを求める請願」については、なお審査を要することから、全会一致で継続審査とした。

また、当委員会に送付された、陳情1件については、聞き置いた。

以下、審査の過程での主な質疑及び要望は以下のとおり。

**【質問】 過疎地域活性化事業のジビエ特産化研究費について、食肉に加工処理する場所は決まっているのか。**

**【答弁】** 現在、1、2ヶ所候補地を想定して事務を進めている。町会、事業所などと調整し、できるだけ早く候補地を決定する。

**【質問】 子ども医療費助成制度について、4月から高校生までの医療費は、領収書を市の窓口へ提出して口座に返却するとのことだが、県は1月に病院での支払いを全て無料にする方針を出している。本市の対応については。**

**【答弁】** 医療費を全て無料化すると、医療費が増大すると想定されることから、財政事情、他の市町の実施状況などを見極めて実施時期を判断したい。

**【質問】 森林病虫害防除事業の松枯れ対策について、千里浜インター付近の海岸沿いの松くい虫被害が大きい。枯れないための対策と植林を広めていくことを積極的に検討しては。**

**【答弁】** 県と連携して倒伐、樹幹注入などの対策と被害状況調査を行っている。今後も植林を含め、松くい虫対策を検討していく。

その他、ユーフォリア千里浜管理運営事業について、下水道事業会計について、地域おこし協力隊事業について、放課後児童健全育成事業について、窓口事務一部委託事業について、観光推進事業の支援策などについての質疑、答弁がなされた。

## 産業厚生常任委員会報告

◎大塚 幸男 ○松永 幸則 北川 真知子 櫻井 英一  
稲村 信成 中村 重幸 中村 孝清

当委員会で付託された案件は、議案第1号「平成27年度羽咋市一般会計予算」中、当委員会所管分など議案25件、報告1件及び継続審査中の請願1件を含む請願3件。慎重に審査を行った結果、各会計予算については、昨年度と同様、総務文教常任委員会と合同で連合審査会を開催し、3月11日～13日の3日間に渡り審査をした。残りの付託案件については3月17日に当委員会を開催し、審査した。

その結果、議案第1号「平成27年度羽咋市一般会計予算」、議案第2号「平成27年度羽咋市国民健康保険特別会計予算」、議案第4号「平成27年度羽咋市介護保険特別会計予算」、議案第24号「羽咋市国民健康保険税条例の一部改正について」、議案第25号「羽咋市介護保険条例の一部改正について」の議案5件については、賛成多数により原案のとおり可決。残りの議案20件及び報告1件については、全会一致で原案のとおり可決、または承認した。

請願第2号「介護報酬引き下げ撤回、介護労働者の処遇改善と人材確保に関する国への意見書提出を求める請願」、請願第3号「TPP交渉に関する請願」につ

いては、なお審査を要することから、継続審査とした。昨年9月定例会から継続審査となっている請願第9号「農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、『農業改革』に関する意見書提出を求める請願」については、賛成少数により不採択とした。

審査過程での主な質疑・要望は以下のとおり。

**【質問】 地域内の消費喚起のため、平成27年度もプレミアム付商品券の発行を支援するとの説明であったが、この商品券の発行により、市商工会に加入する会員は増加しているのか。**

**【答弁】** 新たに会員となる事業者があり、地域経済への波及効果も高いと感じている。今後も市商工会と連携を図り、地域内の消費の拡大と循環を図りたい。

**【質問】 国民健康保険税の後期高齢者支援金等課税額分及び介護納付金課税額の賦課限度額をそれぞれ2万円増やす条例改正であるが、この改正により国保税が増額となる世帯数はどのくらいか。**

**【答弁】** 今年度の課税状況に当てはめると、43世帯程度となる。



## 議会改革、一問一答方式を試みる

本議会から議会改革の一環として、質問形態を「一問一答方式」を試験的に取り入れた。

今回は試験的に、櫻井議員、大塚議員の2名が45分間の持ち時間で質疑・質問をした。

傍聴者のアンケートには、「今後も一問一答方式を実施した方がよい。改善を含めて」との回答があった。また、わかりやすさの点で課題がみられ「質問内容を整理し、端的な質問を」「時間が長すぎる、スピードアップが求められる」などの改善を含めた意見や感想が複数あった。



## 議員全員でモンベル北陸総合センターを視察

2月20日、議員一同で株式会社モンベルのモンベル北陸総合センターを視察した。

モンベルはアウトドア製品メーカーの大手であり、ウェア、シューズ、テント、寝袋、カヌー、自転車、テーブルなどを生産している。同センターはこれらの製造および物流の拠点として、製品の製造や修理、保管や出荷などを行う。

同センターは鉄骨2階建て。敷地面積は3万2,900平方メートル、延べ床面積は3万3,200平方メートルあり、サッカーコート3面以上に匹敵する市内最大の建物である。また、屋根には太陽光発電パネルが設置されている。

同社は環境保護に対する取り組みや東日本大震災後の支援などで高い企業イメージがあるが、同社は市と災害時における施設使用及び物資の供給に関する協定を結んでおり、災害が起きた場合のテント・衣類などの利用や、住民の方々が建物を一時避難所としても利用できる。

議員一同は、自動倉庫、プレス、裁縫、修理、検品、配送などの工程を一つひとつ見て回り、直接モンベル製品を手にとったりして、製品やセンター内の視察を行った。



# ●●● 市民の声 ●●●

## 試行した一問一答方式に関する「市民の声」

- ・ 見ている人には、わかりやすいやり取りになるので、実施した方がよいと思うが、質問者の持ち時間が45分なのは長すぎる。一括の場合もそうだが、スピードアップする必要がある。
- ・ 似たような質問は事前に会派ごとに集約すべきではないか。その上での一問一答方式なら、より緊張感が生まれると感じた。時間の短縮も課題だと思う。議会改革の柱が市民へのわかりやすさとするならば、まずは議会を見ってもらうこと。そのためには現在の一人当たりの質問時間を短くするべきと感じる。前置きが長い。一回一回の答弁で「〇〇議員の質問にお答えします」は不要。質問が自己PR、自己満足のように見受けられる議員がいる。議会内で戒めが必要ではないか。
- ・ 議員の後姿だけで表情がわからない。個別の議員の前のマイクスタンドを直して聞き取りやすいようにしてほしい。マイクの位置が悪いために発言者の姿勢が悪く声が出にくいのではないかと思われる。

## お知らせコーナー

### 「市民の声」を募集

議会だより編集委員会では、市民の皆様の声を募集しています。議会に対しての感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。

〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局 ☎22-7160 FAX 22-7210  
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

### 傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議会定例会は6月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

### ●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信（生中継）しています。また、

録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

### ●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ左欄の「議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

### 会議録、閲覧できます

市議会だよりに掲載されている質疑・質問は、議会で発言された内容の一部です。定例会の内容は、会議録にすべて記載されています。詳しくは、図書館、議会事務局、公民館で会議録をご覧ください。市のホームページにも掲載しています。

なお、平成27年3月議会の会議録は、6月上旬に閲覧できる予定です。

## 編集後記

日本創成会議によって昨年発表された「2040年までに全国約1,800市町村のうち約半数が消滅する恐れがある」との内容は衝撃的だった。本市もその中の一つ、いわゆる「消滅可能性都市」とされている。そこで本市では、急速に進む人口減少に歯止めをかけるため、国の地方創生の動きに呼応して平成27年度より「がんばる羽咋創生推進室」を設置し「がんばる羽咋創生プログラム」を策定するとともに、若者の定住促進をはじめ、人口減少対策や地域経済の活性化など「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進する。まさに創生と生き残りを賭けたプログラムだ。

人口減少・地方消滅という課題を突き付けられている中で、地域が自ら考え、責任を持ってそれを乗り越え自立し、私たちの故郷・羽咋を次の世代へと繋いでいかなければならない。そこで求められるのは、羽咋市がどんな知恵・アイデアを持って、それを実行できるかだと思ふ。各自治体の生き残りを賭けた競い合いが始まっている。

(櫻井 英一)

議会だより編集委員会  
(☎0767-22-7160)

委員長	寺井 哲也
副委員長	松永 幸則
委員	櫻井 英一 浜名 等 北川真知子